

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立足守中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒701-1462
岡山県岡山市北区大井360番地

E-mail: ashimoric@city-okayama.ed.jp
 Website: www.city-okayama.ed.jp/~ashimoric/

児童生徒数 男子 74 名 女子 77 名 合計 151 名
 児童・生徒の年齢 12歳 ～ 15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

1. 足守中学校地域学習（足守地区活性化プロジェクト）の概要

足守中学校区は、岡山市北西部の吉備高原の山並みに囲まれた農山村地域で、近年の高齢化、過疎化がこの地域においても深刻な問題となっている。農業以外の産業が少ないため、卒業後は地元を離れて進学・就職する生徒が多く、地域の担い手である若者が少ないのが現状である。一方で、学校区には文化遺産も多く、古代中世期の遺産が発見され、江戸時代からある近水公園周辺には当時の町並みが保存されている。また、緒方洪庵のような歴史に名を刻む先人も多く輩出されている。虫の生息地やメロンの産地としても知られ、自然環境豊かな土地である。学区の方々は地域に誇りを持ち、こうした文化や伝統、自然を大切に守り、継承していきたいという願いを持っているため、生徒たちは地域の宝であり、次の世代の担い手としての期待として大切に育てられている。こうした中で、地域の課題を自然・産業・歴史・文化にわけて、探究的な活動を通して見つけ出し、課題克服への方法を地域へ提言していくという取り組みが「足守中学校地域学習（足守地区活性化プロジェクト）」である。

2. 主な取り組み

① 地域再発見学習（1年生 42名）

【主な流れ】

5月下旬 活動内容についてオリエンテーション、テーマ希望調査
活動グループづくり、活動計画書作成、訪問先へのアポどり

6月 4～5名のグループで現地（訪問先）に行つての取材活動
主な訪問先：いこいの丘・森上メロン・安富牧場・福谷チーズ工房 など



6月中旬 地域再発見学習発表会にむけて調査内容のまとめ、取材してきたことをまとめたり、画像を用意したりしながら、模造紙を使つての発表にむけて準備



6月23日 地域再発見学習発表会（本校・交流ホール）学年での発表



2 地域学習 (3年生 62名)

【主な流れ】

1学期:大きく3つのテーマにわけて、生徒個人の希望をとり、グループ分け

テーマ:①自然・環境 ②文化・歴史 ③人・生活(福祉・産業)

4~5名のグループ・12班にわかれて、テーマの設定、詳細な活動計画の立案

夏季休業中:訪問取材・調査、資料収集と整理 試作品製作

主な訪問先:岡山大学・Oniビジョン・岡山市役所・中国デザイン専門学校・JA など



2学期:調査と資料を整理し、発表準備

①具体的な提案のためのパンフレットや試作品を作成

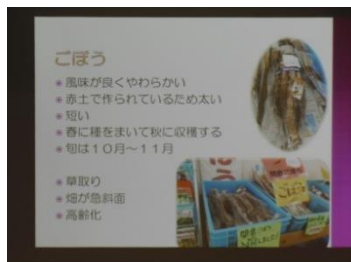
②提言内容をまとめ、提言書の作成

③プレゼン用のパワーポイントの作成



9月29日 学年発表会 (本校・交流ホール)

学年発表会で、10月に行う地域学習発表会の発表形式を決める審査



今年度は、展示発表6班・舞台発表6班に決定

10月9日 地域学習発表会 (本校・体育館)



- ・地域学習発表会で地域の人たちを招いて、提言した。
- ・地域コーディネーター、公民館館長、観光協会、町内会役員などの有識者等からの質疑に回答し、その後、講評をいただいた。
- ・学区の小学校(足守・蛍明)6年生を招待し、中学生の発表を聞いてもらった。
- ・発表形式は毎年異なるが、今年度は、舞台発表と展示発表を行った。
- ・舞台発表は、パワーポイントを利用してプレゼンテーションを行い、展示発表では、グループごとにブースに分かれて、パネル展示とプレゼンテーションを行った。
- ・今年度は最後に、ESD コーディネーターの先生より、指導講評を受けた。

【来賓の方】 足守公民館長・地域センター所長・商工会会長
観光振興会理事・各連合町内会長・地域コーディネーター
など 25 名程度

【使用した機材等】 パワーポイント・パソコン・プロジェクター
模造紙・パネル・DVD など



【代表的提言の紹介】

テーマ: 見て触れて味わう 足守体験ツアー

足守は観光の経由地で、1日、また1泊2日といったメインで観光するプランがないというところに目をつけ、プランを作成することで、足守の観光を盛り立て、地域を活性化させるために地域の観光協会へ出向き、現状を調査したうえで、旅行会社に協力してもらい、予算を含めたプランを作成した。このプランの実施を提言し、パンフレットの活用を呼びかけた。

テーマ: 足守川の生態系と環境



足守川の生態系や環境について、展示で生態系を表す模型をつくり、現状を報告し、今後、蛍の生息地として足守川の環境を守っていく取組みを提言した。



【その他の提言内容】

- * 自然・環境 「足守のホテルを守る」
- * 生活・産業・福祉 「廃校舎の利用」「米粉スイーツ」「ごぼうとメロンのスイーツ」「福谷チーズ工房を広めよう」「足守の特産物を使ったスイーツのパッケージ」「足守のホテルを海外に発信」「広めよう、福谷の花火」
- * 歴史・文化 「Ashimori's Festival」「Do you know Nene?」「足守を知ろう。歴・遊・観」

発表会后

振り返りと次年度への引継ぎ文書の作成
生活における実践

3. 取組の成果

この活動は、地域における地域のための活動で、ともすると、地域の範囲だけで終わってしまいがちなものである。ほとんどの提言が発表会で終わってしまっていることが、毎年反省点でもある。

しかしながら、その中でも今年度は祭りを研究発表した班が作成したPRポスターを実際の催事を利用していただく機会に恵まれた。また、地域学習における蛍についての取組みを広報する方法として、ESDナビというインターネットを利用するなどして、地域の中だけの活動にとどまらず、外に向けての発信にも力を注ぐことができた。

今年度の成果として、生徒たちが地域外の方からご意見をいただいたり、地域の情報を外にむけて発信したりすることで視野を広げる体験ができたこと、地域の中の自分たちの存在意義について生徒一人一人が感じ取り、自分たちが地域社会の担い手であるという意識をもつことができたことなどがあげられる。

4. 今後の課題

地域について学び、提言を行うこの取組みは生徒たちが地域の担い手であることを意識できる活動として定着し、内容や提言方法も年々工夫がこらされてきている。一方で、毎年同じような形式で、地域の問題を発見し、解決方法を地域に発信するという流れになっているため、地域の問題点を自分たちで見つけていく点において、新しい課題がなかなか出にくいようである。

次年度、より充実したものにするためには、課題発見の段階で地域に問いかけてみるのも一つの方法ではないだろうか。

また、発表後、引き続き地域や市と連携を密にし、発表のみで終わらないような方法や環境をととのえていくことも考える必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（科学部の活動の一部として）

)